

▶ 2023.12.1(金)

じいちゃんは違和感の総合デパートです。  
TPOを間違えるとただちに「違和感」に変身します。

花やの店先で、17, 8歳の乙女が、ほほに人差し指をあてながら小首をかしげながらお花を見つめている姿は美しい！  
絵になります。

これが、45, 6歳のおばさんになると…  
う～ん、ちと、気持ち悪い。

さらに、これが80歳のじいちゃんになると…  
これは恐怖です。  
街角のちいさなかわいいお花屋さんの店先で、  
80歳のあたまのはげあがったじいちゃんが、人差し指をほほにあてながら小首をかしげてお花を見つめている姿を想像してみてください。  
このシチュエーションは許せますか、この平和な街角で…  
お見せにいたお客さんはいっせいに店の外に逃げ出します。  
お店のご主人は、花きり包丁をしっかりとにぎりしめ、  
戦闘モードで構えます。

119番に電話しているお客さんもおります。  
花やのまわりは騒然としてまいります。  
野次馬が集まり出します。  
人が集まれば、商売上手なたこ焼きさんが店を開きます。  
焼きそば屋さんのいい匂いがあたりにただよわせ始めます。  
無責任な群衆が、”宇宙人がいるんだと。”と騒ぎ出します。  
はるか遠くから店のなかを覗いているので、  
髪がないから宇宙人にちがいないというと、  
その隣りに人が、「そうだな、黒髪のふさふさした宇宙人などいないわな。」  
と無責任に付和雷同します。

たいへんなことだと、警官がやってきました。  
きましたが、群衆にはばまれてお店に近づけません。  
これはいかんということで応援を呼びます。  
機動隊がまいります。  
とはいっても2, 30人の機動隊では大群衆を押さえることができません。

自衛隊がやってきました。

|メニューへ戻る|

地球防衛隊というのもやってきました。

戦車が路上を固め、攻撃用ヘリ、アパッチがそこから群衆を威嚇します。

なにごとか、とテレビカメラが入ります。

軍事評論家とか宇宙研究家とかいう人達が無責任なコメントをたれます。

テレビを見ていた隣国のスパイが、

我が国を攻撃するための訓練が始まったと勘違いをし、故国へ緊急事態を報告しました。

隣国では、この報告をうけ、直ちにいつでもミサイルをぶっぱなす体制にはいりました。

この情報をキャッチした国の防衛本部では、国民に隣国からミサイルが発射されるので防空壕に入るよう緊急事態を宣言しました。

それを聞いた花やを取り囲んでいた群衆は一斉に逃げ出しました。

たこ焼きやも焼きそば屋も逃げました。

警官も逃げ出しました。

機動隊も逃げ出しました。

自衛隊も戦車もアパッチも逃げました。

じいちゃんは、外の騒音をもとろもせず、相も変わらず人差し指をほほにあてながら小首をかしげてお花を見つめております。

お店のご主人は、花きり包丁をしっかりとにぎりしめたまま、あいもかわらず戦闘モードで固まっております。

平和な、平和な、小さなお花屋さんの午後の時間が流れていきます…